

貸借対照表

2025年3月31日現在

株式会社アイエーマネージメントサービス

第14期

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	275,733	流動負債	50,372
現金及び預金	80,100	買掛金	12,474
売掛金	33,470	未払金	9,023
前払費用	2,005	未払費用	7,506
短期貸付金	160,000	未払法人税等	7,949
未収入金	157	預り金	1,871
		賞与引当金	7,004
		その他	4,543
固定資産	68,283	固定負債	20,601
有形固定資産	53,970	退職給付引当金	20,601
建物	289		
機械及び装置	1,358		
車輛運搬具	50,401		
工具器具備品	1,921		
		負債合計	70,973
		純資産の部	
投資その他の資産	14,313	株主資本	273,043
繰延税金資産	10,577	資本金	10,000
その他	3,735	利益剰余金	263,043
		利益準備金	1,558
		その他利益剰余金	261,485
		繰越利益剰余金	261,485
		純資産合計	273,043
資産合計	344,017	負債純資産合計	344,017

個別注記表

1. 会計方針に関する事項

① 重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産

建物、車両運搬具

定額法

機械装置、工具器具備品

定率法

耐用年数は、次の通りであります。

建物 10年

機械装置 15年

車両運搬具 2～6年

工具器具備品 15年

② 重要な引当金の計上基準

イ 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

ハ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

なお、退職給付債務の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

③ 重要な収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下の通りであります。取引の対価は履行義務を充足してから主として1年内以内に受領しているため、重要な金融要素は含んでおりません。また、対価の金額が変動しうる重要な変動対価はありません。

提携企業の店舗指導・支援およびコンサルティング業務を行っております。対象となるサービスが完了した時点で履行義務が充足されると判断し、サービス完了時点で収益を認識しております。

2. 当期純利益

当期純利益は、25,578千円であります。